

『かわら版』
第19回

「セーフコミュニティ」ってなんだろう!?

「セーフコミュニティ」について詳しく知りたい方は、市HPをご覧ください♪



「セーフコミュニティ」は、みなさんの身近に起こっている事故やけがを予防する取組みのことです。「事故やけがは偶然に起こるのではなく、原因を調べ対策を行うことにより、予防できる!」という考えのもと、みなさんが一緒になって、安心安全なまちづくりを進めていくことが大切です。

7分野の取組「自殺予防」

自殺予防

我が国の平成27年の自殺による死亡者は約2万3千人。本市においても、毎年100人前後（中でも働きざかりの50～60歳代が多い）と深刻な社会問題となっています。

自殺対策は、「生きる支援」です。さまざまな関係機関が無料の相談窓口を開設しています。（市のホームページ（下記QRコード）を参照）まずは、相談してみませんか？



第2回

法律相談や
こころの相談など

暮らしに役立つ!

生活とこころの無料悩み相談会&ミニレクチャーを開催しました!

自殺予防週間に合わせて、平成29年9月11日（月）～9月15日（金）に夕方18時～、鹿児島市勤労者交流センター7階（よかセンター）にて行いました。

●臨床心理士によるミニレクチャー「ストレスについて考えよう」

- ・自分に現れるストレス反応を知っておくことも大切です!
- ・ストレスは「悪者」にもなるが「人生のスパイスにもなります」



●弁護士によるミニレクチャー「借金で困った時の対処法」

- ・借金や消費者トラブルで困ったら一人で悩まず、警察や各相談機関へすぐに相談しましょう。

相談に来られた方からは、「来てよかった」「悩みを相談できた」との感想がありました。まずは、一人で悩まず、誰かに相談することが大切です。



セーフコミュニティ情報お届け掲示板

『第3回セーフコミュニティ推進フォーラム』を開催しました!

第2部 パネルディスカッション

セーフコミュニティの取組をより多くの方に知っていただくため、7月18日、『セーフコミュニティ推進フォーラム』を開催しました! 地域組織の代表や関係団体など、約380名もの多くの方に出席いただき、会場は熱気につつまれていました♪

第1部 講話

題:「セーフコミュニティに地域で取り組むメリット」

講師:白石陽子氏

(日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事)

- 「協働の体制」「体系的な取組の仕組み」「人、地域の力」の3つの基盤がセーフコミュニティの特徴です。
- 地域のことを一番理解している地域の方々が主体となって、セーフコミュニティに取り組むことで、成果（安全向上）が見えてくるし、楽しんで取り組んでもらえると思います。

- 地域の実情・実態を把握することが、交通事故や犯罪の抑止につながります。
- 既存の組織を上手く使っていただき、そこから取組を広げていくことが重要です。

美園 竜一氏

(鹿児島県警第6方面交通安全課長、交通安全推進員)

- セーフコミュニティに取り組むことで、ボランティア団体等とのネットワークが構築され、活動の質の向上も期待できます! 色々な方を巻き込みながら、取組を進めていきたいと考えています。

大山 貴氏

(鹿児島地区コミュニティ協議会専任相談員)

堀之内 克行氏

(鹿児島市地域包括支援センター 地域課長)

- セーフコミュニティに取り組むことで、地域活動に意欲のある人や知識、技術を持った人の把握につながり、地域の担い手を発掘できます。
- セーフコミュニティを既存の組織や取組の一環とすることで、皆も参加しやすく、地域の負担も少なく取り組むことができます。



鹿児島市では、WHO（世界保健機関）が推奨するセーフコミュニティに取り組む、28年1月29日に国際認証を取得しました。

鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課 セーフコミュニティ推進係（市役所東別館3階）
TEL: 099-216-1512 FAX: 099-226-0748